



山科 勝 (YAMASHINA Masaru)

学術研究院（大学院教育実践研究科担当）准教授

山形県最上郡鮭川村出身。筑波大学大学院修士課程教育研究科教科教育専攻修了。山形県立高等学校18年・山形県教育センター6年を経て、2019年4月より学術研究院（大学院教育実践研究科担当）准教授。専門は理科教育学。

研究室から見える色

5階の研究室からは蔵王の山々がきれいに見えます。4月から毎日眺めていると、山の色が新緑から鮮やかな緑、そして深緑へと移り変わっていく様子を見ることができました。この先、どんな風に山々の色が移り変わっていくのか、楽しみにしています。ここ数年で好きになったのは、冬の山の色で、水墨画のような色合いに惹かれるようになりました。山形の四季はいつも素敵です。このことは、高校生物の「生態系」の単元で、生徒に話すことがよくありました。

これまで高校の生物教員として過ごしてきて、自分に問いかけてきたのは、生徒に「自然を見つめる目」を育むことができているかということです。高校生は感受性豊かで、様々なことを自分のこととして考えてくれます。今も、理科の授業を通して、彼らが世界を見るときにより多面的に捉えられるよう手助けをしていき、生徒たちの人生がもっともっとカラフルになるといいなと思っています。